

2022 年度 学校法人 三幸学園 東京医療秘書福祉&IT 専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 陶山 毅

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

○教務

・業務効率化及び情報発信などを円滑化する為に ICT を推進。複雑な時間割作成に自動作成システムや Microsoft Teams を活用し、業務効率を図る。また生徒との情報発信・連絡ツールとして Googleclassroom に加え、メールでの連絡も併用可能とした。

○就職

・例年、卒業間近まで内定を頂くことが難しい生徒に保護者に連絡をし、状況報告・ご家庭での協力を仰いでいた。そこで就職活動に困難をきたし、よりサポートが必要な生徒は早期から保護者とも連携を取り合いながら就職支援の斡旋を行う必要があると考えた。そのようにすることで保護者から生徒への声掛けや協力により、保護者・生徒が希望している就職が可能になる。また、自校に頂ける求人票を全国の姉妹校で公開することで、姉妹校の生徒にも首都圏の大手医療機関に就職することが機会を与えられる。

○広報

・入学者数の増員を目指し、在校生スタッフの募集・育成を強化。

② 学校関係者評価委員会コメント

特になし

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・保護者の連絡

現状、毎年 3 月中旬に実施する新入生オリエンテーション時に学校の理念・目的・育成人材像等を伝えているが、入学後は伝える機会を設けていない。また保護者への連絡は出欠状況が悪い等、生徒に何かあった場合の連絡のみに留まっている。

② 今後の改善方策

- ・4～6 月の期間で全生徒に保護者へ連絡を入れ、学校生活の様子を共有する。
- ・日本医療秘書学会で賞を受賞した等、生徒が活躍した際も連絡を入れる。
- ・進級学年には 2 月の教材発送する際の書面に理念等を記載する。

③ 特記事項

- ・時代のニーズから WEB デザイン・IT 科の新設や医療秘書科のコースの見直しを検討した。

(2)学校運営

【評価項目】（評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

- ・現状の人事制度は専門人材が活躍できる制度が少なく、より専門人材が活躍できるように環境整備をする必要がある。
- ・Wi-Fi が弱くネット環境が要因となり、業務推進への影響や授業の進行が遅れることがある。

② 今後の改善方策

- ・2024 度に向けて人事制度の見直しがされる予定。
- ・2023 年度始めに全教室の Wi-Fi の電波を強化し、以前よりネット環境が改善された。

③ 特記事項

(3)教育活動

【評価項目】（評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・各医療機関及び企業を招待して評価を受ける機会が少なかった。

② 今後の改善方策

- ・教育課程編成委員会のメンバーとして日本医師事務作業補助者協会理事の方にもご参加頂き、医師事務作業補助者のカリキュラムについてご助言頂いた。
- ・7月25日（火）に採用合同説明会・面接練習会を校内で実施予定。（18社の医療機関にお越し頂く予定）
- ・シミュレーション大会は臨機応変な接遇ができるかを審査して頂くよう、予め接遇内容を知らない状態で臨むような内容に変更した。

③ 特記事項

(4)学修成果

【評価項目】（評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	2
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・就職率の向上を図ることを目的とした新しい施策を行えていない。
- ・資格によって合格率に差異がある。
- ・卒業生に向けて求人の案内等のサポートができていない。

② 今後の改善方策

- ・新しい施策として校内合同説明会を実施することで就職率の向上を図っていく。
- ・検定強化委員会を設置し、合格率向上に向けて動いていく。
- ・卒業生向けの LINE やネットワークサイト「三幸 LINK」を通じ、定期的に現状を把握できるアンケートを実施しサポートへ繋げる。

③ 特記事項

(5)学生支援

【評価項目】（評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

・教員の経験によって生徒の支援体制に差が出ている。その為、学校生活や就職活動の斡旋にも影響している。

② 今後の改善方策

- ・生徒対応で教員の経験によって差が出やすい場面(生徒面談・学校行事の動機付け等)を想定し、担任会議にてデモンストレーションを実施し、どの教員からも同等の支援ができるようにしていく。
- ・年に一度実施されるサマーセミナーでは、三幸学園の教員が一堂に会し、分野ごとの研修にて知識を習得していく。
- ・第2回全体会議では、当校の全教員の教務力向上を目指し、外部講師による研修を実施していく。

③ 特記事項

(6)教育環境

【評価項目】（評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

(8)財務

【評価項目】（評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018年度～2022年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023年度～2027年度)を公開する予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

・コロナ禍に伴いボランティアや産学連携の機会が減ったので、地域貢献の機会を新たに検討する

② 今後の改善方策

・社会貢献できる生徒の育成を目標にボランティア委員会を設定した。

③ 特記事項

なし

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4
学内で適切な体制が整備されているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・2022 年度の自己評価の報告に対して、委員の方々から承認をいただいた。
- ・2023 年度も引き続き、教育理念である「技能と心の調和」を念頭に教育や人材育成を行う
- ・委員会でいただいたご意見を実施へ繋げるために計画を立て、現場で活かせる知識や技術の提供について強化する。
- ・在校生の退学防止、卒業生との繋がり強化等ご意見いただいた対策案を今後の学校運営に活かす。